

情報モラルのはじめ

1 年

活動名 道徳 さるおくと学ぼう


実践者 久末小学校 藤生 豊

1. 平成19年 1月16日

2. ねらい

悪口を言われたり書かれたりした人の気持ちを考え、人に親切にしようとする態度を育てる。

3. 活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支 援
<p>悪口を言われたり、言ったりした経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことがあったか。 ・どんな気持ちになったか。 ・どんな気持ちで言ったか。 <p>webの「さるおくと学ぼう」の「ひぼうちゅうしょう」の「せいかつバージョン」を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さるお」が友達の「くまお」の悪口を壁にいたずら書きするが、そのことを後で後悔する。 ・「さるお」の行動について話し合う。  <ul style="list-style-type: none"> ・いたずら書きをしたこと。 ・悪口を書いたこと。 <p>「さるお」は、これからどうしたらいいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くまお」に謝る。 ・いたずら書きを消す。 <p>自分たちの生活をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪口を言わない。 ・悪口を書かない。 ・意地悪をしない。 ・みんなで仲良くする。 	<p>悪口の言い合いにならないようにし、良くないことであることを意識できるようにする。</p> <p>自分たちではwebを開けないため、教師用コンピュータからの転送画面で全員がフラッシュのアニメを見る。 登場人物のセリフを教師がその気持ちになって読み、場面を捉えやすくする。</p> <p>ただ、「いけないことだ」と言うのではなく、相手の気持ちを考えることが大切なことに気づくようにする。</p> <p>過ちをしたときにはすぐに反省をし、同じ過ちをくり返さないことが大切であることに気づくようにする。</p> <p>意地悪をしたり、悪口を言ったり書いたりしないで、相手の気持ちを考え、仲良くすることが大切であることに気づくようにする。</p>

4. この取り組みによって、子どもにどのような変化（成果）がありましたか。

校舎内にあるいたずら書きを見つけたり、本のいたずら書きを見つけたりするなど、今まであまり気に留めていなかったいたずら書きを意識するようになった。また、悪口に対してもお互いに気にかける姿が以前よりも見られるようになった。